

リン酸が効いたカブは素肌美人

栽培のポイント

●MリンPKで『ち密な肉質』をつくる！

おいしいカブは、細胞がぎゅっと締まり表皮もきれいです。カブの実は胚軸が肥大したもので、肥大し始めからスムーズに太らせることが、おいしいカブをつくるコツです。MリンPKは実の肥大をスムーズにし、ち密で煮込みや漬物に利用しやすい実となります。



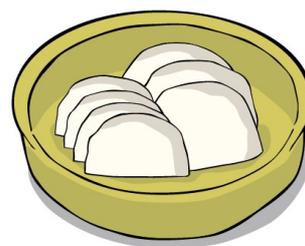
●水分を多く含むカブは、土壌水分も大切！

土壌水分が不足すると、肥大は遅れ気味になり、表皮の繊細さを失ってしまいます。逆に過剰な水分は軟弱生育となり、病気や障害の要因となります。保水性と排水性の両立できた土作りが必要です。地下水位の高い圃場は、高めのウネを作ってください。

カブの施肥提案（1a=30坪）

肥料名	元肥	追肥① 間引きが終わる頃	葉面散布 収穫1カ月前より
MリンPK	2～3kg	2～30kg	Pフォスタ 500倍液を 3～5日おきに2～3回 散布します。
バクヤーゼK	15kg		
NK化成	10kg	3～4kg	
硫酸マグネシウム	0～2kg		

生育の初期段階からリン酸を効かせ、健康に育てましょう



★カブはネコブ病が出るアブラナ科

カブはキャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・小松菜・ダイコンと同じアブラナ科です。ネコブ病が出やすいので、異なる科の作物と輪作をしましょう。

ネコブ病や害虫など、カブの肌を傷つけるのは前作の残さや未熟な有機物が残っていることが原因の一つ。土の中に未熟な有機物を残さないことが、肌のきれいなカブを作る近道です。

収穫後の土づくり（1a=30坪）

各作の収穫後に 残渣とともに
 バクヤーゼ 1袋(100～200g)
 米ヌカ 1kg
 鶏ふん 15kg
 もしくは、
 バクヤーゼK 1袋(15kg)